

令和8年度(2026 年度) 第1回
熊本地域公共交通活性化協議会 利用促進部会

日時:令和 8 年7月 27日(月)10:30～
場所:熊本市役所議会棟2階 議運・理事会室

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 部会長挨拶
- 3 議事
 - (1) 新共通定期券及び新おでかけ IC について
 - (2) 交通利用促進施策の全体像及び過年度の施策評価について
- 4 閉会

【配布資料】

会議次第・委員名簿

配席図

資料1 新共通定期券及び新おでかけ IC について

資料2 交通利用促進施策の全体像及び過年度の施策評価について

資料2参考資料 令和7年度の事業の実績・評価と過年度の各施策の概要資料

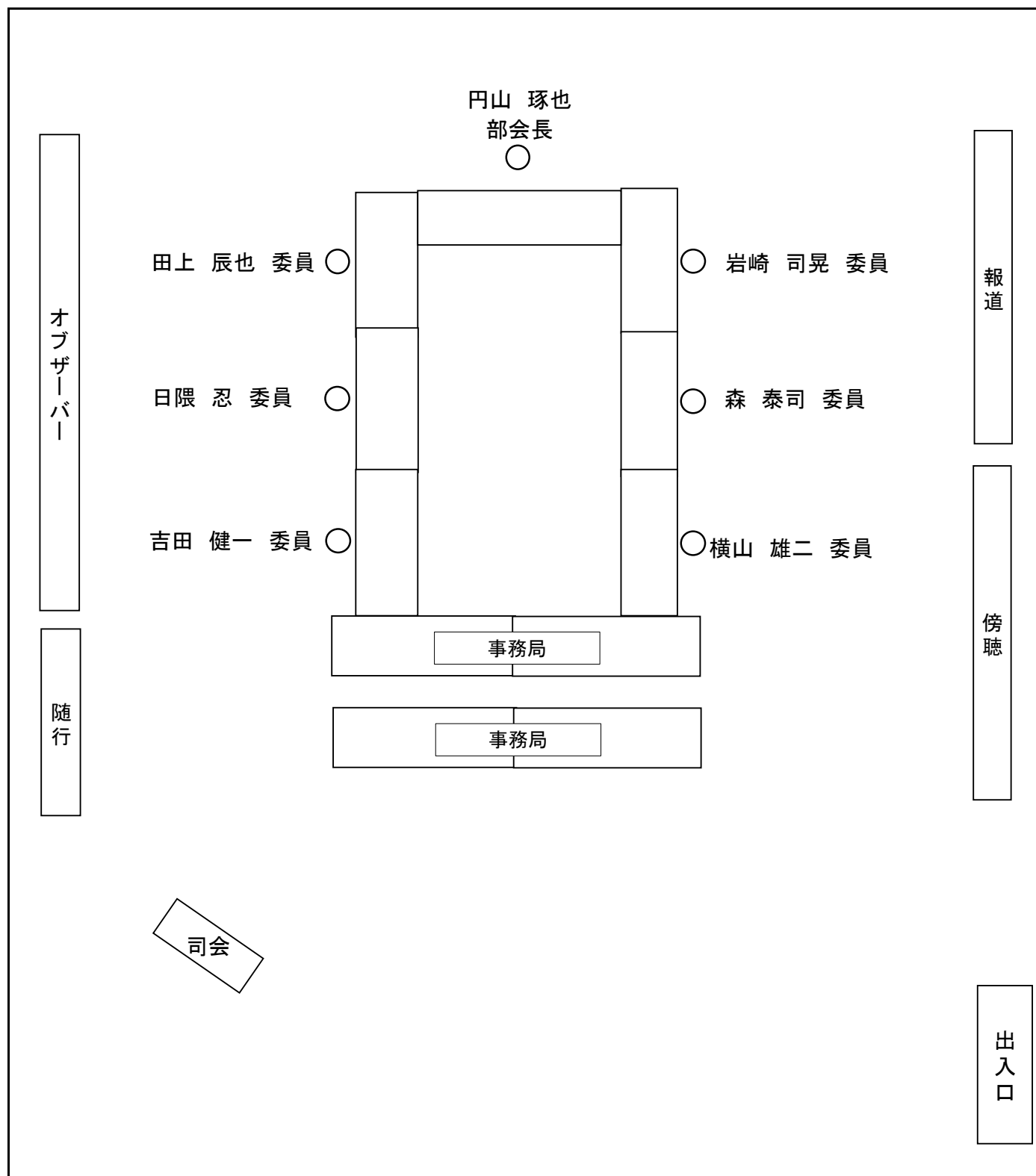
【熊本地域公共交通活性化協議会 利用促進部会 委員名簿】

団体・役職名	氏名	出欠
熊本大学 大学院先端科学研究部 教授	円山 琢也	出席
熊本市議会議員(市民連合)	田上 辰也	出席
熊本市議会議員(自由民主党熊本市議団)	日隈 忍	出席
熊本市議会議員(公明党熊本市議団)	吉田 健一	出席
九州産交バス株式会社 代表取締役社長	岩崎 司晃	出席
熊本商工会議所 観光ビジネス部会長	森 泰司	出席
熊本日日新聞社 論説委員会 委員長	前田 克	欠席
公募市民	横山 雄二	出席

令和8年度(2026年度) 第1回 利用促進部会 配席図

日時: 令和8年7月27日(月)10:30～

場所: 熊本市役所議会棟2階 議運・理事会室



1. 新共通定期券の目的・効果

✓ 公共交通利用者の利便性向上を図るため、バス・電鉄電車・市電に乗車可能な、共通定期券サービスを検討



1つの定期でバス・電鉄電車・市電が利用可能なシームレスで移動しやすい公共交通を目指す

①利便性向上

✓ **乗車可能な便数増加による待ち時間短縮**(利用者はバス・市電を自由に選択可能)
【(例) JR新水前寺駅前～通町筋区間の運行本数 (平日AM8時台)】

現在

バス停

バス：約40本/h 

バス停

電停

市電：約16本/h 

電停

共通定期

計56本/hのバス・市電に乗車可能となる

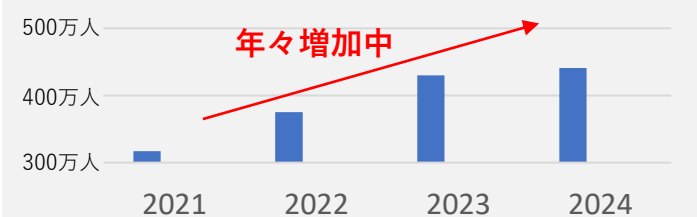
②混雑緩和

✓ 市電混雑時はバスを選択することが可能 (またはその逆) となり、**バス・市電の乗車人員割合が最適化**されることで、車内や電停・バス停の混雑緩和を期待

③利用者増

✓ バス事業者は、2022年4月にくまモンのICカードの共通定期を導入後、定期を利用した乗車回数が増加
【定期を利用した乗車回数の推移】

共通定期導入前	共通定期導入後		
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
3,171,557人	3,752,263人	4,300,469人	4,410,639人



年度	乗車回数 (人)
2021	3,171,557
2022	3,752,263
2023	4,300,469
2024	4,410,639

✓ 上限設定やスマホ登録・決済など利便性が高く、かつ、市電も参画することで、更なる利用者増が期待できる

④渋滞緩和

✓ 利便性向上により共通定期券の利用者が増えることで、現金決済が減少⇒定時性の確保に寄与

✓ 利便性向上、定時性の確保などにより、公共交通の利用者が増加することで、渋滞緩和も期待できる

1

新共通定期券及び新おでかけICについて

2. 新共通定期券の制度概要

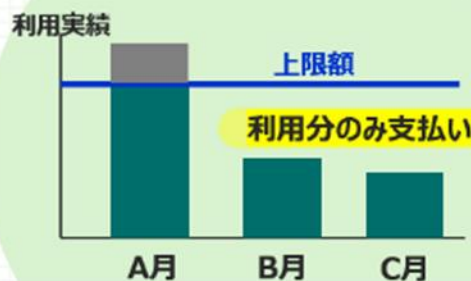
タッチ決済で広がる これからの移動のかたち

乗り物をえらぶ自由に、上制限のあんしんを。
新しい共通定期券プロジェクト、始動。



Point

01



上限設定で無駄なし

使った分だけのお支払い！

上限額を超えると乗り放題！

Point

02



スマホで登録・スマホで決済

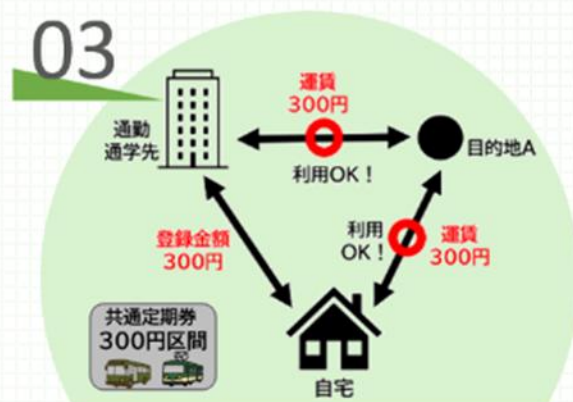
オンライン登録が可能！

原則、自動更新※！

※：通学や小児などは、資格確認が必要

Point

03



事前登録した運賃額の範囲内で自由に乗車

特定の区間に限定されない！

同一運賃区間内なら、
対象のすべての路線が使える！



新共通定期券及び新おでかけICについて

3. 新共通定期券の利用までのイメージ

- ✓ オンライン申請や窓口申請、スマホ決済などを可能とする新たな仕組みを導入。
- ✓ 利用者管理システムや利用者登録用WEBサイトを開発するほか、窓口受付用端末も用意することを想定。

(1) 通勤定期申請イメージ…証明書類等は不要



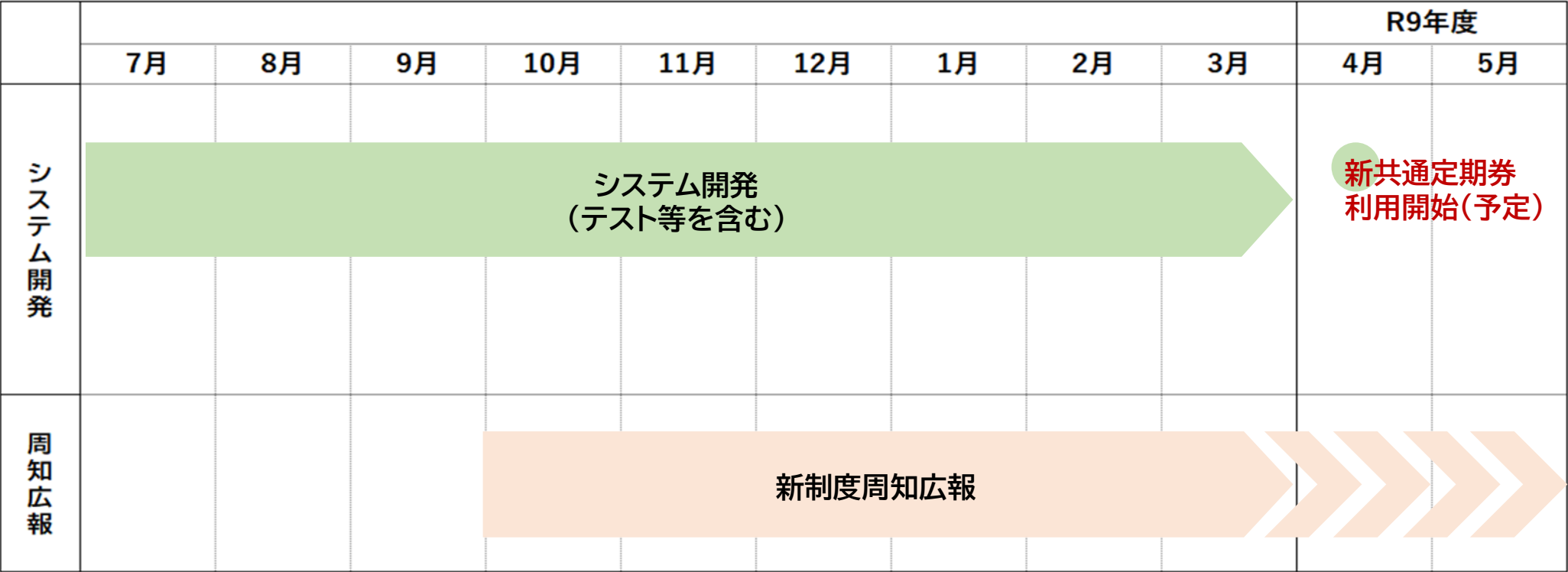
(2) 通学・障がい者等定期申請イメージ…在学期間や障がい手帳などの確認書類必要



(3) 交通事業者の窓口での受付イメージ



4. 新共通定期券の導入スケジュール及び補助金



総事業費(バス5社+電鉄電車+市電) 153,100千円(税抜)	
共通定期券システム開発費	141,700千円
窓口受付用端末	11,400千円(1台300千円×38台)

- 総事業費のうち、熊本市交通局負担分は36,000千円(税込)の見込み。広報費などと合わせて37,300千円を予定。
- 総事業費から国補助を差し引いた額について、1/2を県・市で折半して補助。残りの1/2は事業者負担。
※市電分の県補助はないため、その分は交通局が負担。
- (参考)交通事業者各社の負担は、バス5社、電鉄電車、市電の定期券収入額に応じて負担割合を算出し按分。

5. 新おでかけICの機能強化概要

■ 機能強化概要



Point

01

**スマホで登録**

操作に不安がある方は、
窓口で手続きをサポート

スマホがなくても手続き可能

Point

02

**スマホで決済**

タッチ決済に対応したクレジット・デビ
ット・プリペイドの各カードが利用可能

タッチ決済対応カードをスマホに登録す
れば、スマホでの支払いも可能

Point

03

**原則チャージ不要**

クレジットカード・デビットカードは
チャージ不要

※さらに利用しやすくなるよう引き続き検討



新共通定期券及び新おでかけICについて

6. 新おでかけICの利用までのイメージ

- ✓ 申請には、交通事業者の新共通定期券の仕組み（２）、（３）を活用し、おでかけICの対象者であるか要件を確認。
 ※「熊本市民」、「70歳以上」または「交付対象となる等級の障がい者手帳の交付を受けた方」

(2) オンライン申請イメージ…住所、年齢、障がい者手帳有無などの確認書類必要



(3) 市の窓口での受付イメージ



新共通定期券及び新おでかけICについて

7. マイナンバー連携を利用した更なる機能強化のイメージ

- ✓ 前述のオンライン申請には、「氏名、生年月日等の入力」及び「本人確認書類等のアップロード(画像添付)」が必要。
- ✓ スマートフォンの操作に不慣れな方もいらっしゃることから、利用者の申請に係る負担を軽減するため、くまもとアプリ(マイナ連携)を活用した熊本市独自の仕組みについて継続して事業者と協議していく。

《通常のオンライン申請の流れ（イメージ）》



くまもとアプリ（マイナ連携）を活用することで、破線部分の負担軽減の方法を検討

※くまもとアプリ利用イメージ



メリット1

- ✓ マイナ連携により、以下を自動で確認
 - ・氏名・住所・生年月日
 - ・障害者手帳の保有状況

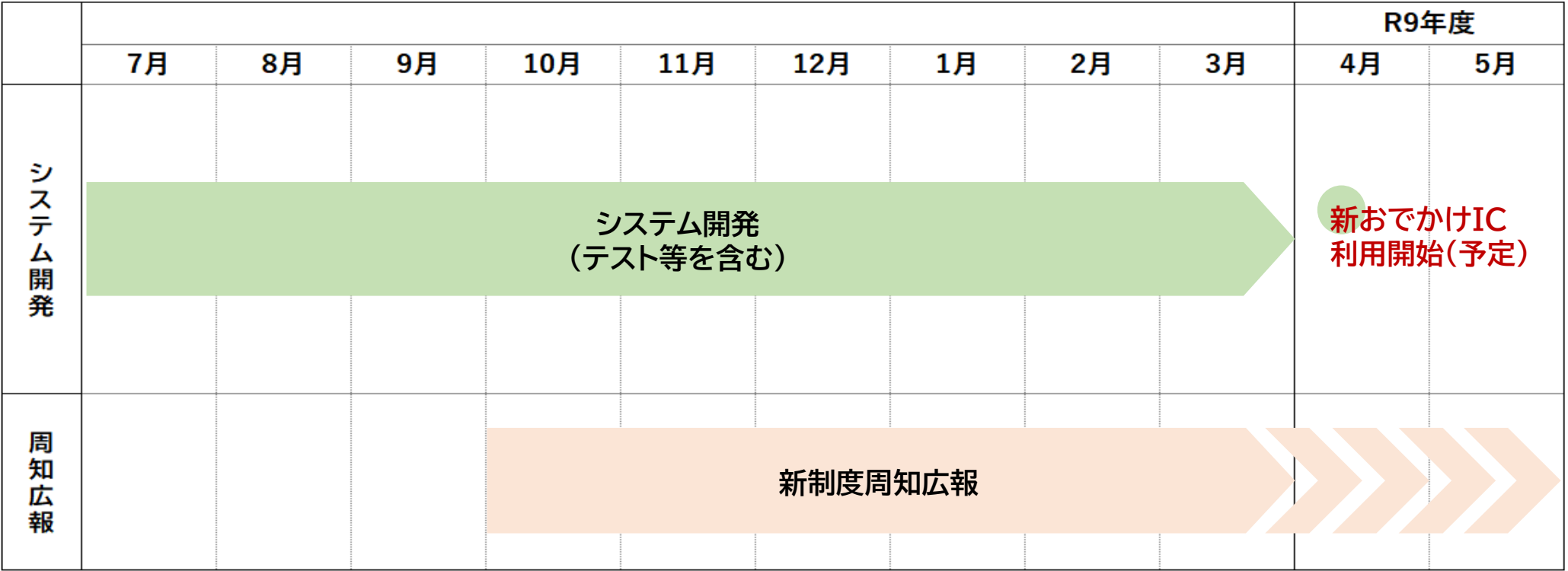
メリット2

- ✓ 氏名等の入力、画像添付が不要

メリット3

- ✓ マイナ連携により、確実に要件を確認
- ✓ 書類の不備が起らない

8. 新おでかけICの導入スケジュール



事業費について

総事業費	77,000千円（税込）
システム開発費	69,080千円
窓口受付用端末	7,920千円（1台330千円×24台※）

※区役所及び総合出張所(計12か所)に配置する端末の総数

補正予算について

- 交通事業者で検討中の新共通定期券システムと同時に開発を進めることで、開発費用や期間の効率化を図る。
- 新制度の周知広報に関しても、可能な部分については、新共通定期券と共同での実施を検討し、効果的な取組となるよう努める。
- 周知広報にかかる経費は、今後精査。

公共交通利用促進施策の全体像 及び過年度の施策評価について

0. 公共交通利用促進とは？

公共交通を利用しやすい環境を整えることで、市民や来訪者の移動手段として公共交通が選ばれるようにする取組

A. 公共交通を便利にする（ハード施策）

- ・供給力向上 ⇒ 増便、運行時間拡大 等
- ・輸送力向上 ⇒ 連接車両導入 等
- ・速達性向上 ⇒ 専用レーン整備、快速便等の運行 等
- ・定時性向上 ⇒ 公共車両優先システム（PTPS）の導入拡大 等
- ・乗換改善 ⇒ 交通結節点整備 等

B. 利用しやすくする（ソフト施策）

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| (1)わかりやすい情報提供 | ⇒ バスロケ、路線図、多言語化、サイン 等 |
| (2)快適な利用環境の整備 | ⇒ バス停ベンチ設置、バス待ち処の整備 等 |
| (3)乗車に対する心理的ハードルの低減 | ⇒ 乗り方教室 等 |
| (4)乗換改善 | ⇒ 新共通定期券の導入 等 |
| (5)料金施策（サブスク等） | ⇒ わくわく1 DAYパス 等 |
| (6)車内の混雑緩和（ピーク時間帯の需要分散） | ⇒ 快速バス運行、時差出勤 等 |
| (7)キャッシュレス化の推進 | ⇒ タッチ決済導入 等 |

C. 行動変容を促す（需要喚起施策）

- | | |
|------------------------|----------------------|
| (5)料金施策（サブスク等）（再） | ⇒ わくわく1 dayパス 等 |
| (8)公共交通利用のきっかけづくり | ⇒ バス・電車無料の日 等 |
| (9)商業施設等との連携による利用機会の創出 | ⇒ サクラマチ映画館×交通券サービス 等 |
| (10)観光客向け施策 | ⇒ 熊本城周遊バス 等 |

近年の公共交通利用促進施策

観点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①わかりやすい 情報提供	バスガイドマップ、バス案内番号の英数化、バスきたくまさん、バスロケモニター				
				Myバス時刻表	
				バス時刻表学校内掲示	
②快適な利用環境の 整備	電停のバリアフリー化、車両のバリアフリー化、車内フリーWi-Fi、バス待ち処				
				バス停ベンチ設置	
③乗車に対する心理的 ハードルの低減	小学生向け乗り方教室		高齢者向け乗車体験		小学生向け乗り方教室
④乗り換えしやすさ	おでかけICカード、パーク＆ライド				
		共通定期券（くまモンICカード）			
				新水前寺駅バス停設置	
⑤料金施策	熊本城周遊バス、わくわく1dayバス、サンコーバス65				
		駅から西高バス			
				まちなかフリーパス	
				半額バス	オフピークタッチ決済割引
⑥車内の混雑緩和				ヴォルターズ臨時便	
					南熊本快速バス オフピーク出勤等推進
⑦キャッシュレス化の 推進			クレカ等タッチ決済（市電）		
				クレカ等タッチ決済（バス）	
⑧公共交通利用の きっかけづくり	バス・電車”元気”フェスタ				
		高校オープンスクール、合格者説明会での周知			
		バス・電車無料の日（全5回）			
			100円ウィーク		
⑨商業施設等との連携					サクラマチ映画館 ×交通サービス券

※⑩「観光客向け施策」については、全て他施策の再掲のため、ここでは掲載しない

1.これまでの公共交通利用促進施策について・・・B:これまでの取り組み

■ B. 利用しやすくする（ソフト施策）・・・これまでの取り組み

※ 事：事業者で実施

※※高：高齢者・障がい者 学：通学者 勤：通勤者 観：観光客

No.	観点	施策名※	対象※※	現状	実績等
①	わかりやすい情報提供	バスガイドマップ（路線図、乗場案内）	全	継続中	—
		バス案内番号の英数化	全	継続中	(例)旧「南18」 →新「M(方面)6(主要経由)-1(第2経由)」
		事Myバス時刻表(複数社の時刻表を、まとめて表示)	全	継続中	ページビュー数：90,709回（R7.4～R8.2）
		事バスきたくまさん(リアルタイム運行情報)	全	継続中	ページビュー数：148,060回（R7.4～R8.3）
		バス停・電停へのリアルタイム運行情報の表示及び多言語化対応 事 ※バス・市電ロケーションモニターの設置（接近情報） ※スマート電停（接近情報、路線図）の設置	全	継続中	■ロケーションモニター（多言語化対応） バス停：県内17バス停56モニター 電 停：全35電停中主要5箇所 ■デジタルサイネージ（多言語化対応） バス停：県内5バス停14機 電 停：全35電停中主要10箇所設置
		事バス時刻表学校内(高校)掲出	学	継続中	鹿本高校、鹿本商高、御船高校
②	快適な利用環境の整備 ※待合～乗車中	バス停へのベンチ設置	全	継続中	349箇所(R8.4時点)
		事車内フリーWi-Fiサービス導入	全	継続中	一部事業者の一部車両で導入 (熊本電鉄、九州産交バス、熊本市交通局)
		バス停・電停等へのバスロケーションモニター設置(再)	全	継続中	—
		車両のバリアフリー化 事 ※低床バス、低床電車(連接電車)の導入	高	継続中	低床バスの導入率：60.1%(R8.3時点) 低床電車の導入率：29.6%(R2時点)→40.0%(R8.3時点)
		電停のバリアフリー化	高	継続中	35箇所中、16箇所対応済
		バス待ち処	高	継続中	71箇所(R8.6時点)
③	乗車に対する 心理的ハードルの低減	事高齢者向け乗車体験withソフトバンク	高	継続中	年1～3回実施(R7年度は未実施)
		事高齢者向けのおでかけマップの作成	高	実施予定 (R8～)	—
		小学生向けバス乗り方教室	学	継続中	3校実施(R7年度)
④	乗換しやすさ	おでかけICの機能強化	高	検討中 (R8～)	バス5社・電鉄電車に加え、熊本市電も利用可
		事新共通定期券の導入検討	学、勤	継続中	—
		JR新水前寺駅高架下へのバスベイ整備	学、勤	継続中	—
		パーク＆ライド、サイクル＆ライド	勤	継続中	290台契約/394台可能(R8.4時点)

1. これまでの公共交通利用促進施策について・・・B:評価、対応策等

■ B. 利用しやすくする（ソフト施策）・・・評価、対応策等

No.	観点	評価	対応策等
①	わかりやすい 情報提供	- リアルタイム運行情報（多言語対応含む）や時刻表集約表示、など、デジタル化への対応については、一定程度、基盤を整備 - 現場（リアル）の視点で取り組むべき課題は多い	- 同名バス停で複数乗り場がある場合（通町筋など）の乗車場所がわかりにくい ⇒わかりやすい案内サインの充実 等 - バスの系統（英数字）がわかりにくい ⇒系統別に色分け など - 時刻表が複数あり、わかりにくい ⇒各社共通時刻表 等 - どのバスに乗ればいいのか、わからない ⇒目的地別時刻表、車両サインの充実 等 - バス停名称が道路側からしか見えない 「バス停に行けば一目でわかる」水準 - エリア単位のわかりやすい公共交通情報の提供 等
②	快適な利用環境の整備 ※待合～乗車中	バス停へのベンチやバス待ち処の設置、低床車両への更新など待合等の快適性は着実に向上。	継続的に取組を推進
③	乗車に対する 心理的ハードルの低減	- 乗り方がわからない、支払いが不安*など、利用者の心理的ハードルを下げる非常に重要な取組みであるが、断続的な取組みに留まっている ※市電では全国共通ICカードは乗車と降車で2回タッチするのにクレカ等のタッチ決済は降車時の1回で良い、どこにタッチすればよいかわからない、決済方法の案内がわかりにくいなど	- 効果的な取組にするには、計画的に、一定程度の回数を毎年継続的に行うことが必要 - 決済方法がわからず案内もわかりにくい→乗車が怖い→乗らない人の解消
④	乗換しやすさ	- バス、市電、電鉄電車を1枚で利用できる新共通定期券は、料金的な乗換抵抗を大幅に軽減し、新規利用者の獲得も期待される。 - パークアンドライド駐車場の整備・利用拡大には、自家用車よりも公共交通利用の方が、目的地に早く到着する等の施策と一体的に取り組む必要がある。	- 新共通定期券導入時には、既存利用者等への周知・丁寧なサポートが必要 - パークアンドライド駐車場の整備に併せた、快速バス等の運行 等

1.これまでの公共交通利用促進施策について・・・B、C:これまでの取り組み

■ B. 利用しやすくする（ソフト施策）・・・これまでの取り組み

※ 事：事業者で実施
※※高：高齢者・障がい者 学：通学者 勤：通勤者 観：観光客

No	観 点		施策名※		対象※※	現 状	実績等
⑤	料金施策 (サブスク等)	広域・複数 モード利用	事	わくわく1dayパス(1日定額パス)	観	継続中	①市内主要：R6年度10,639枚⇒R7年度12,260枚(販売実績(紙＋WEB)) ②市内広域：R6年度17,231枚⇒R7年度23,230枚(販売実績(紙＋WEB)) ③県内一円：R6年度3,085枚⇒R7年度3,448枚（販売実績(紙＋WEB))
		回遊性向上		熊本城周遊バス(200円均一) まちなかフリーパス ※200円均一エリア土日祝日300円/日乗り放題	観 他	継続中 社会実験中	利用者数：R2年度40,815人⇒R7年度92,758人 利用枚数：R6年度2,549枚⇒R7年度6,818枚
		ターゲット 特化	事	高齢者向け特別定期(サンコーパス、ICシニアパス 6 5)	高	継続中	サンコーパス：2,640回（R7推計値） ICシニアパス65：3,855回（R7.4～R8.2実績値）
				おでかけICの機能強化(高齢者、障がい者）（再）	高	検討中(R8～)	バス5社・電鉄電車に加え、熊本市電も利用可
			事	新共通定期券の導入検討(通勤、通学等）（再）	学、勤		
		事	駅から西高パス(通常に通学定期よりも非常にお得)	学	継続中	販売枚数：R6年度305枚 ⇒ R7年度391枚	
		渋滞・ ピーク分散	事	渋滞対策と連携したオフピークタッチ決済割引キャンペーン	学、勤	終了(R7.12)	タッチ決済率2％（7.6万人）増（R7.12）
事	渋滞なくそう！半額パス		学、勤	終了（R6.10～ R7.2）	公共交通利用が増えた人の4割が自家用車から転換		
⑥	車内の混雑緩和 (ピーク時間帯の 需要分散)		事	低床電車(連接電車)の導入(再) 南熊本快速バスの運行（社会実験） JR新水前寺駅高架下へのバスベイ整備(再)	高 学、勤 学、勤 学、勤	継続中 終了（R8.2） 継続中	連接車両の導入率：29.6%(R8.3時点) 1便あたり利用者数最大235人、利用者の98％継続希望 －
			事	新共通定期券の導入検討(再)	学、勤	検討中(R8～)	バス5社・電鉄電車に加え、熊本市電も利用可
			事	渋滞対策と連携したオフピークタッチ決済割引キャンペーン(再)	学、勤	終了	－
			事	渋滞なくそう！半額パス(再)	学、勤	終了	－
				県や企業と連携したオフピーク出勤等の推進	勤	継続中	一日あたり平均10,687人参加（R7.9）
			事	ヴォルタース試合後の臨時便運行	他	継続中	利用者数：685人/28日運行（R7年度実績）
		⑦	キャッシュレス化 の推進	事	クレジットカード等タッチ決済導入	全	継続中
事	高齢者向け乗車体験withソフトバンク(再)			高	継続中	－	
事	新共通定期券の導入検討(再)			学、勤	検討中(R8～)	－	

■ c.行動変容を促す（需要喚起施策）・・・これまでの取り組み

⑧	公共交通利用の きっかけづくり	バス・電車100円ウィーク	全	終了（R6.2）		1回実施 利用者数前週比1.18倍（R6.2.5～2.11）
		事 利用促進キャンペーン(バス・電車”元気”フェスタ)	全	継続中		来所者数：3,589人(R7.10.13開催)
		事 高校オープンスクール、合格者説明会にける周知活動	学	継続中		県内15校
		小学生向けバス乗り方教室(再)	学	継続中		3校実施(R7年度)
		熊本城周遊バス 1日乗車券×施設割引	観	継続中		—
⑨	商業施設等との 連携による 利用機会の創出	まちなかフリーパス×施設割引	観、他	社会実験中		—
		事 サクラマチ映画館×交通サービス券	他	継続実施検討中		利用実績：1,515枚（R7.4～R7.8の75日間）
		事 ヴォルタース試合後の臨時便運行(再)	他	継続中		利用者数：685人/28日運行（R7年度実績）
⑩	観光客向け施策	わくわく1dayパス(1日定額パス)(再)	観	継続中		—
		熊本城周遊バス(200円均一)(再)	観	継続中		—

1. これまでの公共交通利用促進施策について・・・B、C:評価、対応策等

■ B.利用しやすくする（ソフト施策）・・・評価、対応策等

No.	観点	評価	対応策等
⑤	料金施策（サブスク等）	・利用者増への一定の効果はある ・恒常的な無料化や大幅割引は持続的な施策展開に課題	・公共交通利用の定着が図られるよう、より目的や対象、時間帯等を明確にした料金施策を推進
⑥	車内の混雑緩和（ピーク時間帯の需要分散）	・バス、市電を1枚で利用できる新共通定期券の導入により、利用の平準化と混雑緩和を期待 ・県や企業と連携したオフピーク出勤は渋滞が緩和するなど一定の効果	・タッチ決済を活用したオフピーク割引の断続的な実施や、企業との連携による通勤需要の平準化(オフピーク出勤等)など、需要側への働きかけを強化 ・運転士不足が深刻化する中、限られた輸送力を有効活用(ピーク時増便等)する観点から、車両のダウンサイジング化等の取組みを推進。
⑦	キャッシュレス化の推進	・現金利用者が、30%程度存在しており、降車時の混雑や定時性、速達性の低下に影響 ・各交通モードで、どの決済手段が使えるか分かりにくい	・バス・市電・電鉄電車 で利用可能な新共通定期券の導入を契機として、更なるタッチ決済の利用促進

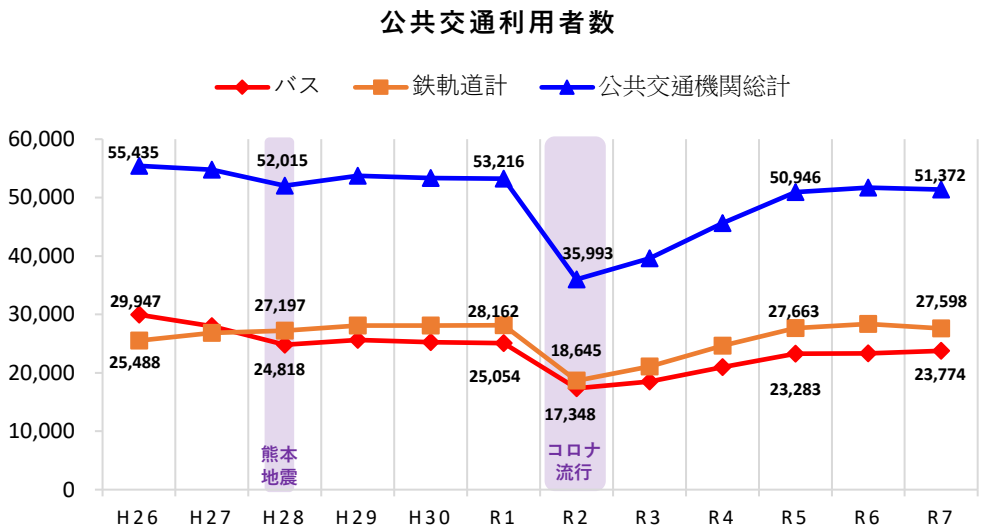
■ c.行動変容を促す（需要喚起施策）・・・評価、対応策等

⑧	公共交通利用のきっかけづくり	・公共交通を普段使わない層の体験機会を創出する点では、一定の役割を達成	・各種入口施策により初めて利用した方を、どのように定着させるかが大きな課題
⑨	商業施設等との連携による利用機会の創出	・熊本ヴォルターズとの連携施策のように、駐車場が足りない、誰に、いつ利用してもらうかなど目的や対象が明確な場合、利用者の習慣化を促進しやすく利用者の行動変容に繋がりがやすい ・このようにイベント開催時などに、車で来ると混む、駐車場が足りない等利用者が公共交通を利用する明確な目的がある場合は非常に有効	・商業施設やイベント主催者が公共交通利用を“自分事”として負担する制度設計が必要 ・公共交通機関利用来庁者へのインセンティブ（割引）施策検討
⑩	観光客向け施策	・観光客は、どのパスを購入・利用すればよいか、わかりにくい ※わくわく1dayパス、熊本城周遊バス、市電1日乗車券 等	・観光客がわかりやすく購入しやすいサイトの整備 等

2. 公共交通利用者数等の推移について

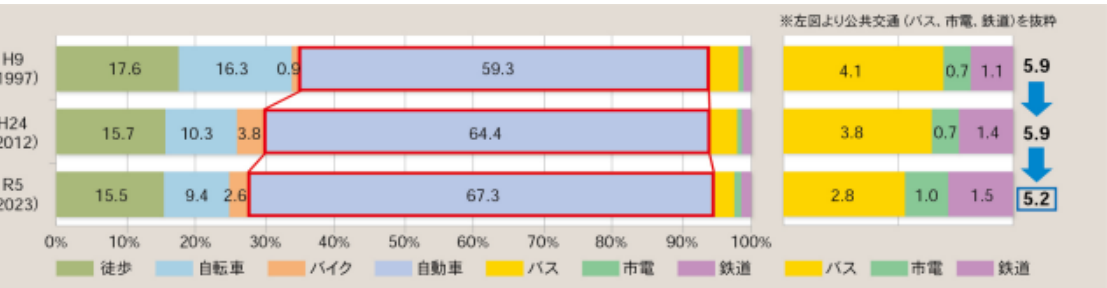
公共交通利用者数の推移

公共交通利用者数は、コロナ禍前の水準まで回復しておらず、「熊本地域公共交通計画」に掲げる目標値（56,000千人）にも及ばない。



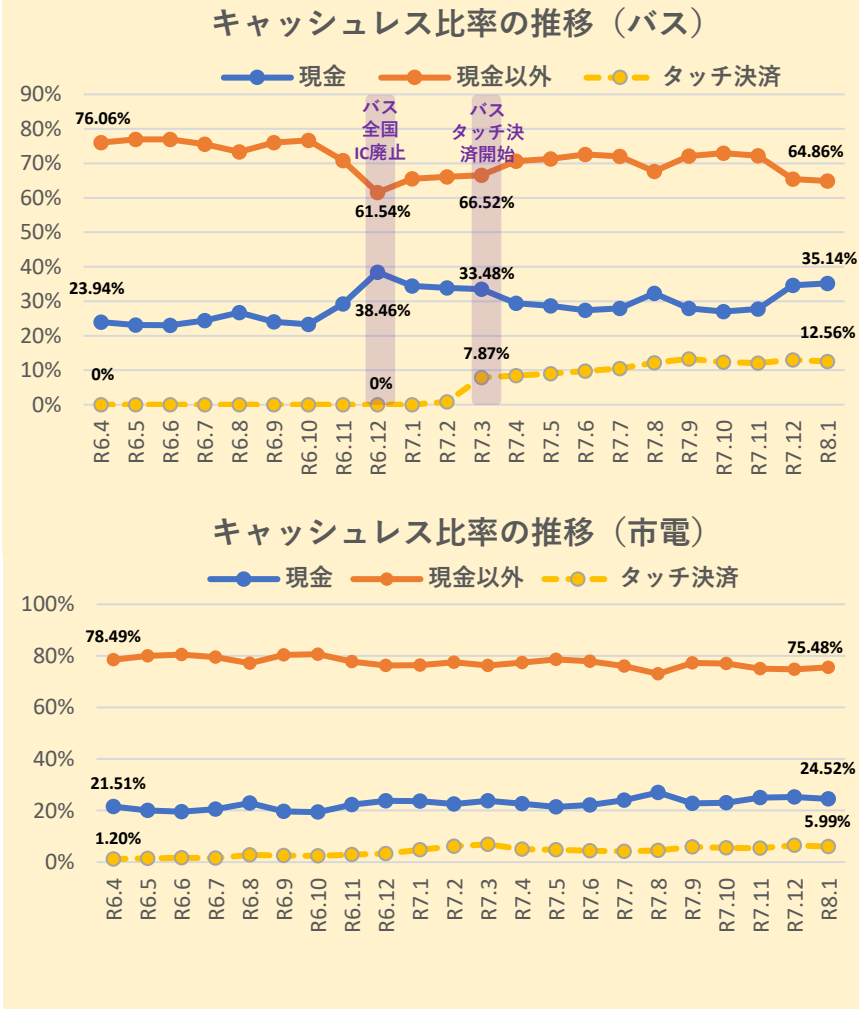
代表交通手段分担率の推移

依然として、自家用車の利用増加傾向に歯止めがかかっていない。



キャッシュレス比率の推移

バスにおける全国共通ICカード廃止により、現金比率が20%程度から30%程度に上昇。一方、タッチ決済利用については緩やかであるものの概ね増加傾向。



3. 今後の方針について(案)

これまでの利用促進施策は、個々の取組としては一定の効果があったものの、**全体としての方向性を十分に整理しきれていない面があった**。今後は、以下の2点に重点を置き、取り組みを推進。

■より利用者目線に立ち、利用促進の土台となる環境整備を着実に推進

- ✓これまで、**わかりやすい情報提供や快適な利用環境の整備、乗車に対する心理的ハードルの低減**など、公共交通利用の基盤となる取組を進めてきた。
- ✓これらは利用者数の増加が直ちに見えにくい取組ではあるものの、**誰もが安心して利用できる環境を整えるうえで欠かすことのできない極めて重要な施策**である。✓今後は、**より利用者の視点に立った分かりやすさと利用しやすさを追求し、公共交通利用促進の土台となる環境整備を着実に推進**する。

■乗り続けたくなる施策(定着施策)の推進

- ✓バス・電車無料の日などの**“乗ってみたいくなる施策(入口施策)”**は、利用のきっかけづくりに有効である一方、継続利用には、増便、速達性・定時性向上、乗継改善、共通定期、分かりやすい情報提供など、公共交通そのものの利便性を高める**“乗り続けたくなる施策(定着施策)”**が不可欠である。
- ✓効果が比較的明確なのは、**対象者・目的地・時間帯等が明確な通勤、通学、イベント連動施策**であり、利用者の行動変容に繋がりが**やすい**と考えられる。
 - ※西高バス、ヴォルターズ試合後の臨時便運行、セミコン通勤バス 等
- ✓一方、**料金施策**にも限界があり、『渋滞なくそう半額バス』のように**大きな効果が出た施策もあるが**、割引が恒常化すると財源負担が大きく、持続的な取組みとして継続していくには課題がある。
- ✓このため、**料金施策は単に「公共交通を安くするための政策」ではなく、渋滞緩和や需要分散、イベント来場、中心市街地回遊性向上、観光消費拡大、通勤・通学利用の定着など、政策実現のための手段として戦略的に活用していくことが重要。**

4. 今年度の取組について(案)

今後、熊本交通機構(検討中)の枠組みの中で、より事業者が連携した利用促進策を検討。

■より利用者目線に立ち、利用促進の土台となる環境整備を着実に推進

- ✓より利用者目線に立った施策を展開するために、まずはアンケートを実施。
 - ※現在の取組に対する評価、利用者がどこで困っているか 等
 - ※いただいた意見・提言の中から、すぐできること・時間がかかるものを整理

■乗り続けたくなる施策(定着施策)の推進

- ✓公共交通利用促進補助金を活用し、定着施策を展開
- ✓具体的な実施施策については、交通事業者と協議

■ まちなかフリーパス（社会実験）

概要：中心市街地の回遊性向上を図り、公共交通利用者の増加等を目的とした、路線バスの200円均一エリアが、土日祝日で乗り放題になるデジタルチケット

対象エリア	200円均一エリア ※R6.9～R7.9は180円
対象日	土日祝日のみ
対象交通機関	路線バス
券種	デジタルチケット ※RYDEで販売
販売金額	300円 ※小学生以下2名まで無料

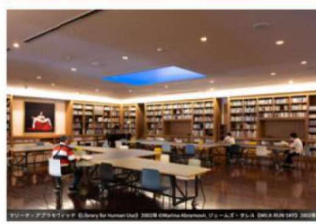
▼割引対象施設

熊本城



通常価格	高校生以上 800円 小・中学生 300円
割引後価格	高校生以上 640円 小・中学生 240円

熊本市現代美術館



企画展示の通常価格
※料金は企画展により異なります

団体割引適用

熊本博物館



通常価格	大人 400円、高校・大学生 300円 中学生以下 200円
割引後価格	大人 320円、高校・大学生 240円 中学生以下 160円

その他、割引対象施設

対象施設	通常価格	割引後の価格
桜の馬場 城彩苑 熊本城ミュージアム わくわく座	高校生以上300円 小・中学生100円	高校生以上240円 小・中学生80円
小泉八雲熊本旧居	高校生以上200円 小・中学生100円	高校生以上160円 小・中学生80円
夏目漱石内坪井旧居	高校生以上200円 小・中学生100円	高校生以上160円 小・中学生80円



↑この画面を撮影で提示

▼まちなかフリーパス対象エリア



▼利用方法



資料2

熊本の移動がこれ1つで完結旅のプランに合わせて、3つのエリア（区間指定①・②、県内版）から選択可能。

〈わくわく1 dayパス：県内版〉



■事業の評価

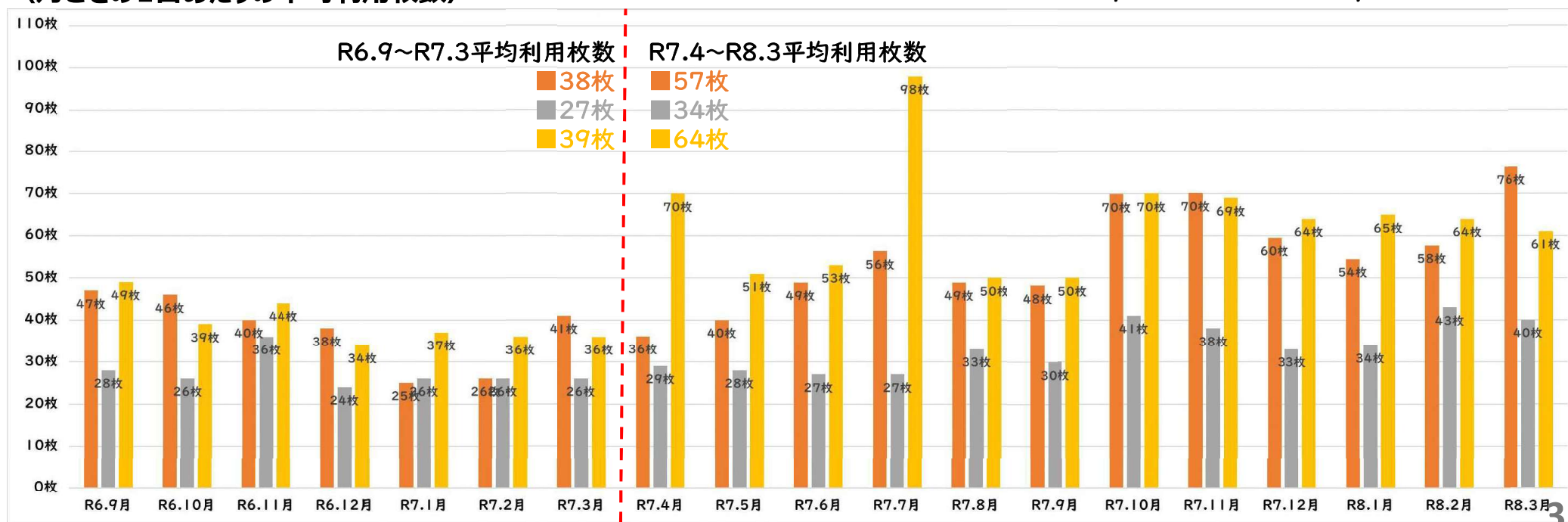
- ・熊本市LINEへの投稿や、すばいすへの折り込みチラシ等の周知広報により、まちなかフリーパスは土日祝の限定施策でありながら利用枚数が1.5倍に増加。
- ・わくわく1dayパスはmy routeに加え令和7年度からRYDEでも購入可能に。
また、熊本バスの参画(R7.4～)により使用エリアが拡大し利用者数が増加

■事業の効果

- まちなかフリーパス(土日祝日のみ) : R6.9～R7.3 1日あたりの平均利用枚数 **38枚/日** ×1.5増 R7.4～R8.3 1日あたりの平均利用枚数 **57枚/日**
- わくわく1dayパス①(全日) : R6.9～R7.3 1日あたりの平均利用枚数 **27枚/日** ×1.3増 R7.4～R8.3 1日あたりの平均利用枚数 **34枚/日**
- わくわく1dayパス②(全日) : R6.9～R7.3 1日あたりの平均利用枚数 **39枚/日** ×1.6増 R7.4～R8.3 1日あたりの平均利用枚数 **64枚/日**

〈月ごとの1日あたりの平均利用枚数〉

■ まちなかフリーパス ■ わくわく1dayパス① ■ わくわく1dayパス②



■ 【事】 渋滞対策と連携したオフピークタッチ決済割キャンペーン事業



■ 概 要

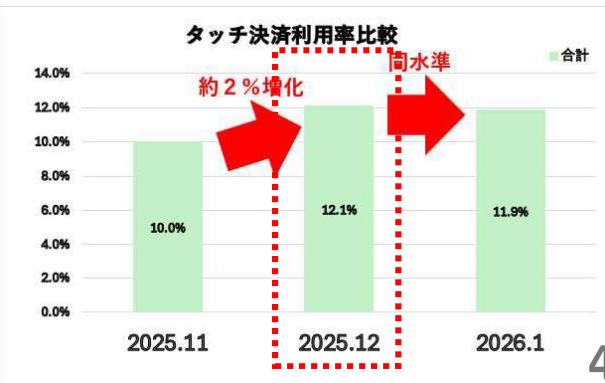
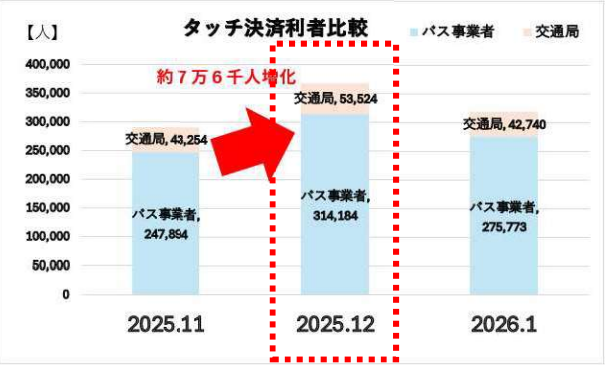
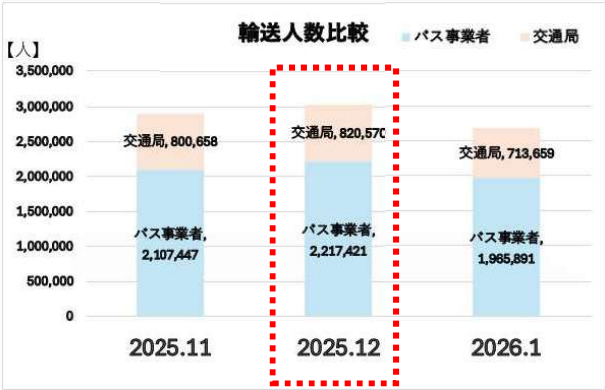
- ・ オフピーク時間に、バス・電鉄電車・市電を利用し、クレジットカード等で決済(タッチ決済)された方に運賃の20%を割引

参加事業者	県内バス5社、電鉄電車、市電
割引対象	熊本市内を通過する路線バス（一部の路線バスを除く）、熊本市電、電鉄電車
割引率	平日（朝7:30～8:30以外の降車） 土日（終日）のタッチ決済利用 ⇒ 20%割引

■ 事業の評価

- ・ 前月と比較してもタッチ決済利用者数が増え、利用率も10%→12%に上昇。
- ・ またキャンペーン終了後も利用率が同水準であり、一定の定着が図られている。

輸送人員（事業実施期間）	3,037,991人		
	タッチ決済利用者	367,708人（12.1%）	
タッチ決済率の推移	11月	12月（実施期間）	1月
	10%	12.1%	11.9%
アンケート結果	実施期間中にタッチ決済を利用した人の 9割 が「今後も続けていきたい」と回答。 「オフピークへのシフトに向けた課題」についての自由意見では、時差出勤導入や勤務時間変更を望む声が 4割 。		



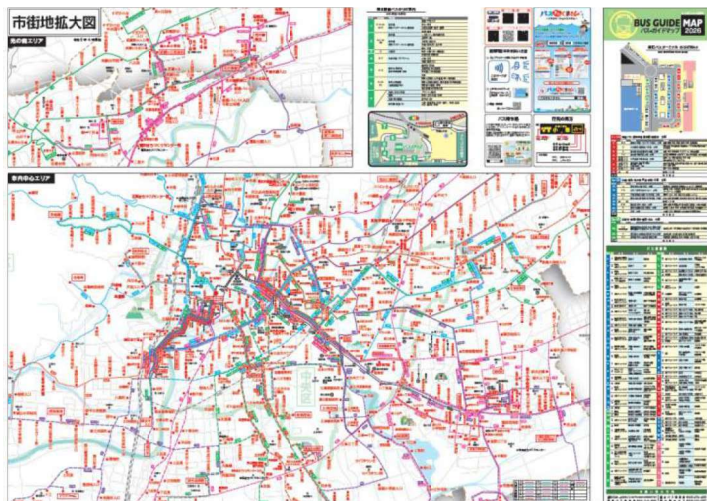
【参考資料】各施策の概要・・・①わかりやすい情報提供

資料2

■ バスガイドマップ

④

概要：市内のバス路線、運行系統及びバス停を掲載したもの。毎年作成。
配布場所：本庁舎総合案内及び当課窓口で配布。市ホームページにも掲載。



■ 【事】バス案内番号の英数化

④

概要：インバウンド需要の増加や国際イベントの開催を見据え、令和元年9月にバス案内番号を従来の「漢字+数字」から「アルファベット+数字」へ変更。

旧



新



- (1) 方面区分
- (2) 主要経由区分
- (3) 第二経由区分

■ 【事】Myバス時刻表

④

概要：熊本県内の主要な路線バス5社の運行時刻を一括で表示・印刷できる無料のウェブサービス。令和5年（2023年）9月26日から開始。

印刷用のためPCからご利用ください。
スマートフォンからは、[バスきたくまさん\(バスロケ\)](#)、[Google Maps\(経路検索\)](#)がおすすめです。

出発地: 熊本駅前 行先: 水道町 印刷する

印刷ボタンから、プリンタの拡大・縮小設定でページに合わせて印刷しましょう。

時	平日 (2026/05/08)	土曜 (2026/05/09)	日祝 (2026/05/10)	時
06	16 ① 20 ② 20 ③ 21 ④ 24 ⑤ 41 ⑥ 42 ⑦ 45 ⑧ K3-1712 C3-3 G2-5 E2-6330 F2-1543 E2-2 S4-9 C9-1 F2-1543	05 ① 27 ② 30 ③ 43 ④ 55 ⑤ E2-1530 K3-1712 C3-3 F2-1543 C9-4	15 ① 25 ② 48 ③ E2-1530 G2-5 K3-1712	06
07	01 ① 04 ② 07 ③ 08 ④ 09 ⑤ 10 ⑥ 14 ⑦ 14 ⑧ 17 ⑨ K3-1712 S4-9 F2-1542 E2-6330 C9-1 K3-1712 K3-1543 19 ① 28 ② 29 ③ 32 ④ 34 ⑤ 35 ⑥ 40 ⑦ 41 ⑧ 43 ⑨ E2-1542 C3-3 C9-4 K3-1543 K3-1712 44 ① 50 ② 50 ③ 54 ④ 55 ⑤ 57 ⑥ 59 ⑦ E2-1542 S4-9 C9-1 E2-2	05 ① 05 ② 12 ③ 15 ④ 16 ⑤ 20 ⑥ 26 ⑦ 27 ⑧ C3-3 F2-1542 K3-1712 K3-1543 C3-3 S4-9 E2-1530 30 ① 30 ② 38 ③ 40 ④ 48 ⑤ 58 ⑥ 59 ⑦ C9-4 K3-1712 K3-1543 C3-3 F2-1543 E2-1543	05 ① 06 ② 10 ③ 13 ④ 15 ⑤ 23 ⑥ 24 ⑦ C3-3 F2-1542 C9-5 K3-1712 C9-4 K3-1712 S4-9 30 ① 35 ② 36 ③ 46 ④ 46 ⑤ C3-3 G2-5 K3-1543 E2-1530 F2-1542	07
08	00 ① 04 ② 10 ③ 11 ④ 12 ⑤ 16 ⑥ 18 ⑦ 21 ⑧ 25 ⑨ K3-1543 K3-1712 S4-9 E2-2 K3-1543 K3-1712 29 ① 31 ② 35 ③ 38 ④ 39 ⑤ 49 ⑥ 57 ⑦ 59 ⑧ E2-1542 E2-2 G2-5 S4-9 K3-1712 F2-1543 E2-2 C3-3	08 ① 13 ② 14 ③ 23 ④ 24 ⑤ 26 ⑥ 29 ⑦ 40 ⑧ K3-1712 K3-1543 C9-4 K3-1712 E2-1542 S4-9 49 ① 59 ② E2-1543 C3-3	00 ① 06 ② 15 ③ 18 ④ 24 ⑤ 24 ⑥ 29 ⑦ E2-1542 K3-1543 C9-4 K3-1712 E2-1530 S4-9 41 ① 41 ② 54 ③ 59 ④ F2-1542 K3-1712 C9-5 C3-3	08

■ 【事】バスきたくまさん（バスロケーションシステム）

④

概要：路線バスのリアルタイム運行情報を閲覧できるサービス。
パソコンやスマートフォンから、いつでもどこでも乗りたいバス所在地や接近情報を確認可能。



【バスきたくまさんHP】



【参考資料】各施策の概要・・・①わかりやすい情報提供

資料2

■【事】バス停・電停へのリアルタイム運行情報の表示 及び多言語化対応

(全)

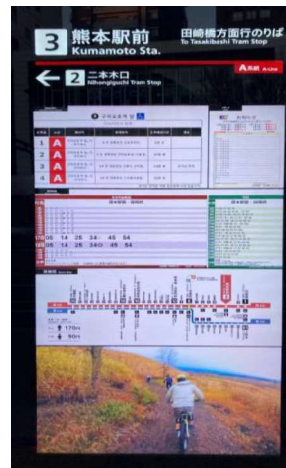
概要：主要バス停・電停等において接近するバス・市電の情報を表示することで、待ち時間の不安等を軽減。多言語化にも対応。

「バス」接近情報表示モニター：県内主要17バス停に計56台
デジタルサイネージ（接近情報、路線図）：県内主要5バス停に計14機
「市電」接近情報表示モニター：全35電停中主要5電停
デジタルサイネージ（接近情報、路線図）：全35電停中主要10電停

▼バスロケモニター画面・スマート電停

運行会社 Company	案内番号 Guide Number	行先 Destination	経由 Via	定時 運行状況
藍交	F2-1	小山団地 Oyama Danchi	桜町バスターミナル・子飼・託 Sakuramachi Terminal Kokai Takumabaru I	17:51 通過済み Passed
都市	O1-0	第一環状線 Daichi Loop line	新町・上熊本駅・子飼橋 Shinmachi Kami Kumamoto Sta. Kokai Bar	17:55 運行中 Before Start
藍交	A5-1	山鹿温泉 Yamaga Onsen	植木・日置・来民バイパス Ueki Heli Kufami Bypass	17:58 もうすぐ Soon
藍交	AP	熊本空港 Aso Kumamoto Airp.	【空港リムジン】 グランメッセ・ 【Airport Limousine】 Grandmesse Techno	18:00 もうすぐ Soon
電鉄	C1-3	菊池温泉 Kikuchi Onsen	国道 堀川 御代志 National Road Horikawa Miyoshi	18:03 5秒前通過 5Stop Before

お知らせ：熊本駅前広場工事に伴い、しばらくの猫モニター表示が一時的に消える場合がございます。



▼モニター・デジタルサイネージ設置箇所一覧

バス停名	
モニター	デジタルサイネージ
桜町バスターミナル	藤崎宮前
熊本駅前	西部車庫
市役所前	小島産交
通町筋	植木
水道町	本渡バスセンター
交通局前	さんぱー（上天草）
味噌天神	八代産交
水前寺公園前	阿蘇駅前
熊本県庁前	

電停名	
モニター	デジタルサイネージ
幸島町	熊本駅前
通町筋	熊本城・市役所前
水道町	幸島町
交通局前	健軍町
健軍町	水前寺公園

■【事】バス時刻表学校内（高校）掲示

(学)

概要：鹿本高校、鹿本商工高、御船高校と連携し、学校内（教室等）でバス時刻表をいつでも確認できるように掲示
令和6年度より実施中、他の高校への展開を検討中

▼御船高校の最寄りバス時刻表

御船高校 最寄りバス時刻表												2025年11月時点	
【平日登校ダイヤ】						【平日下校ダイヤ】							
通車 山鹿 6:45発	6:49	金内 7:00	長谷 7:10	矢筈 7:28	7:34発	17:34 19:16 20:36	矢筈 17:41 19:23 20:43	長谷 17:59 19:41 21:01	金内 18:10 19:52 21:12	18:21 20:03 21:23	18:25発 20:07発 21:27発		
浜町		6:06発 6:37発 7:05発	6:34発 7:05発	6:05発 6:10発 6:40発 7:00発 7:33	6:18発 6:23発 6:53発 7:13発 7:46発	15:09 15:18 15:58 17:15	15:25発 15:34発 16:14発	16:39 17:33 18:18発 19:01発	17:08発 18:02発 19:30発	18:47 19:35発	浜町		
						18:47 18:50 19:53 19:56 21:20 21:40	19:03発 19:08発 20:09発 20:12発 21:36発 21:56発						
						15:33 16:38 17:13 18:25 19:38 19:43 20:39	15:51 16:56 17:33 18:43 19:55 20:05 20:56	15:59 17:05 17:43 18:51 20:03 20:12 21:03	16:13 17:19 18:00 20:15 20:23 21:14	16:23発 17:29発 18:10発 19:15発 20:24発 20:32発 21:23発			
桜町 バスターミナル	6:28発 6:50発 7:40発	6:37 7:00 7:50	6:47 7:12 8:03	イオンモール 熊本 6:56 7:23 8:13	7:12発 7:39発 8:29発	15:33 16:38 17:13 18:25 19:38 19:43 20:39	15:51 16:56 17:33 18:43 19:55 20:05 20:56	15:59 17:05 17:43 18:51 20:03 20:12 21:03	16:13 17:19 18:00 20:15 20:23 21:14	16:23発 17:29発 18:10発 19:15発 20:24発 20:32発 21:23発	桜町 バスターミナル		
	6:18発 6:52発	6:30 7:06	6:41 7:19	秋津団地 6:48 7:27	7:05発 7:48発	15:23 16:43 17:53 19:08	15:42 17:02 18:15 19:26	15:52 17:12 18:28 19:36	16:05 17:25 18:44 19:49	16:19発 17:39発 18:44 19:03発 20:03発			
				小池三差路 6:51 7:50	7:04発 8:03発	16:03 18:24	16:15 18:37	16:30 18:53	16:43 19:03	16:58発 19:18発			
		木山車交 6:35発 7:33発				16:48 17:34 18:49	17:00 17:47 19:02	17:16発 18:03発 19:18発					
バスの運行状況 をリアルタイム に確認  バスきたかまさん 自宅最寄りの バス停時刻表  Myバス時刻表 熊本バス株式会社 熊本中央(営): 096-378-3447 甲佐(営): 096-234-0369 産交バス株式会社 木山(営): 0570-09-3131  熊本バス キャラクター													

【参考資料】各施策の概要・・・②快適な利用環境の整備 ※待合～乗車中

資料2

■バス停へのベンチ設置

全

概要：利用者の待合環境の改善を図るために、バス停にベンチを設置

●ベンチ設置箇所数(2026年4月現在)

- ・バス事業者等による整備 200箇所
 - ・市による整備 149箇所
- 合計349箇所



■車両のバリアフリー化※低床バス、低床電車（連接電車の導入）

高

概要：誰でも利用しやすいバリアフリーな移動空間を実現するため、ノンステップバスや超低床電車（LRV）を導入

バス：低床車両の導入率は 60.1%

市電：低床車両の導入率は 40.0%

▼ノンステップバス



▼超低床電車



■【事】車両フリーWi-Fiサービスの導入

全

概要：訪日外国人や観光客をはじめとする利用者の利便性向上を目的に、バス・市電車内で無料Wi-Fiサービスを提供

市電：平成31年4月から全車両で「くまもとフリーWi-Fi」を提供

バス：九州産交バスでは高速バス路線全車両、熊本電鉄バスでは令和7年4月から路線バス全車両に導入

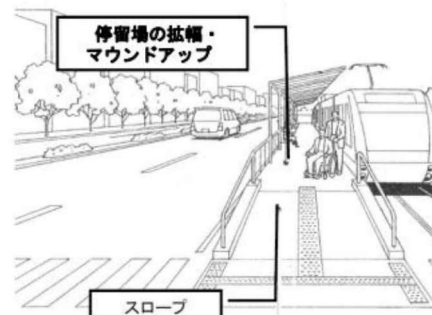
■電停のバリアフリー化

高

概要：誰でも利用しやすいバリアフリーな移動空間を実現するため、電停の幅やかさ上げ（マウンドアップ）などのバリアフリー化を推進。

令和7年度までに35箇所中、16電停の改良が完了。

※健軍町電停（上り）は、整備済には含まない



▼改良済電停

一	洗馬橋
H 1 4 年度	上熊本駅前（車両基地移転にあわせ整備）
H 2 1 年度	健軍町（上り）
H 2 2 年度	熊本駅前、田崎橋、二本木口、新水前寺駅前
H 2 3 年度	九品寺交差点
H 2 4 年度	市立体育館前
H 2 6 年度	熊本城・市役所前、交通局前
R 元年度	河原町、通町筋（上り）
R 3 年度	辛島町、動植物園入口、通町筋（下り）
R 5 年度	商業高校前、健軍校前

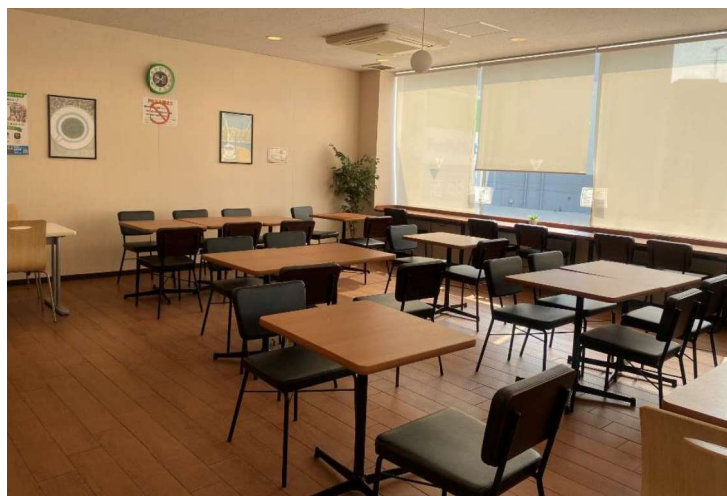
■バス待ち処の設置

高

概要：「バス待ち処」とは、バス停の近くにあるスーパーやコンビニなどの協力店舗でバスを待つ人が快適に過ごせる場所を提供する取組。店舗では、イートインスペースやトイレの利用、最寄りのバス停に到着するバスのリアルタイム情報(バスきたくまさん)の案内を実施。

●協力店舗(2026年5月現在)

- ・スーパー 4店舗
- ・コンビニ 67店舗



【参考資料】各施策の概要・・・③乗車に対する心理的ハードルの低減

資料2

■【事】高齢者向け乗車体験withソフトバンク

高

概要：公共交通の乗車に対する心理的ハードルの低減と高齢者の外出機会の創出を目的として、バスの乗り方やICカードの利用方法に加え、スマートフォンを活用した時刻表やバス接近情報の確認方法等を学ぶ教室を開催。

▼過去の実績

- ・令和5年度に4回実施
※5月、8月、9月、10月
- ・体験教室参加者数のバス利用回数：400回
※参加者のくまモンICカードのIDとLINE連携を行い、その後の利用状況をモニタリングした結果



■小学生向けバス乗り方教室

学

概要：小学生を対象に、実際のバス車両を活用しながら、バスの乗り方やマナー、公共交通の役割を学ぶ教室を開催。
令和7年度は4年ぶりに開催し、3校164名に対して実施。

▼過去の実績

年度	実施校数	児童数
R2年度	5校	276名
R3年度	6校	215名
R4年度	中止 ※コロナ禍のため自粛中	
R5年度		
R6年度		
R7年度	3校	164名



■【事】高齢者向けのお出かけマップ作成 (R8より実施)

高

概要：中心部主要バス停から徒歩圏内の店舗や休憩スポット、まちなかの見所等を掲載した「お出かけマップ」をR8年度に作成予定。
※下通繁栄会と連携し、下通りエリアの魅力を発信するとともに、バスの乗り方を写真付きで分かりやすく紹介

▼作成イメージ例：しろめぐりんパンフレット



■【事】新共通定期券の導入

(学) (勤)

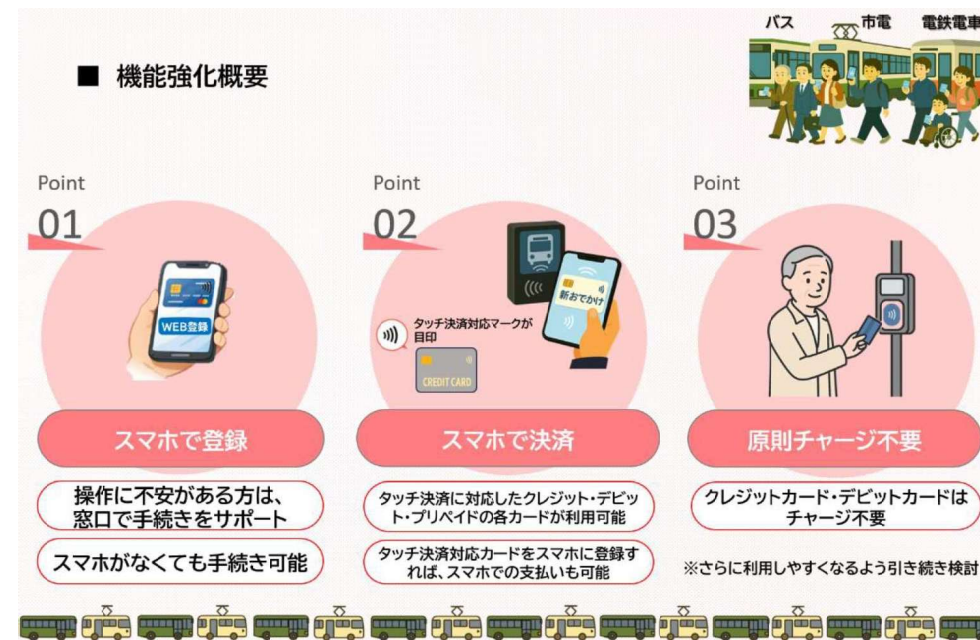
概要：2022年に、くまモンのICカードによる、バス・電鉄電車で利用可能な共通定期券を導入。
 現在、タッチ決済による新たな共通定期券の導入が検討されており、市電も参画予定。
 ※窓口に行かずとも自宅で申込可能
 ※利用が少ない月は使った分だけの支払いで済む機能
 ※同一運賃内であればどこでも乗り降り可能



■おでかけICの機能強化

(高)

概要：高齢者や障がい者の外出支援と公共交通の利用促進を目的として、新共通定期券のシステムを活用し既存のおでかけICカードの機能を強化。
 ※スマホで登録
 ※スマホで決済
 ※原則チャージ不要 等



■JR新水前寺駅高架下へのバスベイ整備

学 勤

概要：新水前寺駅前電停では、JRから市電への乗換えが非常に多く、積み残しが発生している状況。
また、駅と既存バス停が約150m離れていることで乗り換えがしにくいことも要因のひとつと考えられる。
電停等の混雑の解消及び利用者の安全確保に向けて、JR高架下付近に暫定的なバス停(上り)設置を検討。

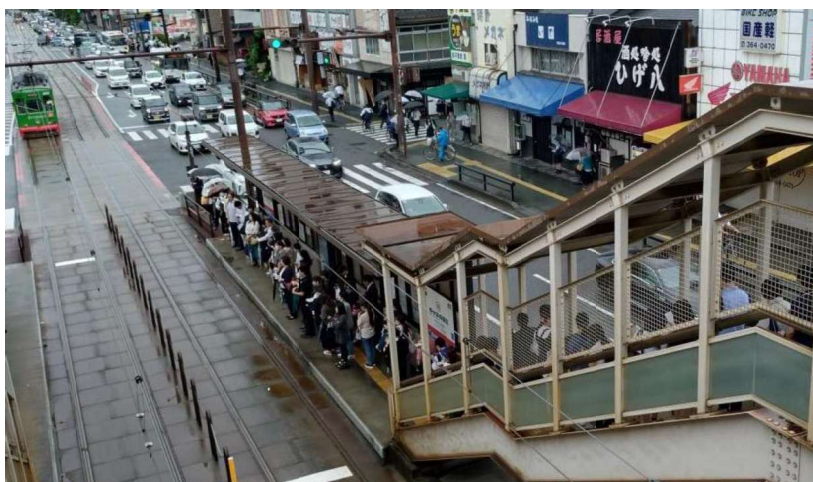
▼新水前寺駅前電停の混雑状況



▼バスベイ暫定計画



▼運行車両イメージ



【参考資料】各施策の概要・・・④乗り換えしやすさ

資料2

■パーク&ライド、サイクル&ライド

勤

概要：郊外の駐車場に自家用車を止め、そこから公共交通機関を利用して中心市街地へ移動してもらうことで、中心市街地への自家用車流入を抑制し、交通渋滞の緩和を図る。

▼パーク&ライド実施箇所（R8.5時点）

実施箇所名	接続する公共交通等	駐車可能台数	現在契約者数	空き台数
宇土市宮宇土駅東口	JR鹿児島本線	30	29	1
北熊本駅	熊本電鉄	10	10	0
新須屋駅	熊本電鉄	65	65	0
イオンモール熊本	熊本バス	50	24	26
西部車庫	九州産交バス	72	54	18
ゆめタウン光の森第5駐車場	JR豊肥本線	35	35	0
中の瀬車庫	熊本バス	45	14	31
黒石駅	熊本電鉄	37	37	0
光の森営業所	九州産交バス	40	25	15
大津営業所	九州産交バス	10	0	10
合計		394	293	101
稼働率				74.4%

▼イオンモールパーク&ライド

イオンモール熊本のパーク&ライド駐車場
を利用してみませんか？

パーク&ライドとは マイカーを最寄りのバス等や駅などに近い駐車場に駐車（パーク）し、バスや鉄道などの公共交通機関に乗り換えて（ライド）目的地へ行く方法。

イオンモール熊本のパーク&ライドを利用するメリット

- 1 自由時間の増加！**
バスに乗り換えることで、運転をする時間が減少し、余った時間を読書や調べもの等の自由な時間に使えます。
- 2 駐車場利用料金が実質無料！**
駐車場のご利用には、1か月のご利用につき、電子マネーWAONへの5,000円分のチャージが必要となります。イオンでのお買い物時にご利用ください。
- 3 ガソリン代の節約に！**
途中でバスに乗り換えることにより、目的地へ直接自家用車で向かう場合よりも、ガソリン代を節約することが出来ます。

駐車場周辺図

駐車場の利用可能時間について
平日の **6:00～24:00**
以下の曜日・期間は利用できません
● 土日・祝日
● 12月29日～1月3日（年末年始）
● 8月12日～16日（お盆）
● ゴールデンウィーク

運行バスについて（平日）
【行先】桜町バスターミナル
6時台：11本
7時台：12本
8時台：9本
熊本バス時刻表
その他の時間帯等の詳細な時刻表については、QRコードをご参照ください。

お申し込み お問い合わせ

イオンモール熊本
（インフォメーションカウンター）
TEL: 096-235-2200
受付時間: 10:00～20:00

【参考資料】各施策の概要・・・⑤料金施策(サブスク等)

資料2

■【事】わくわく1dayパス

観

概要：公共交通を利用した周遊観光等を目的に、一定のエリア内でバス、市電、電鉄電車が24時間乗り放題になる企画乗車券を販売
令和7年度からは、デジタルチケットでも取り扱い開始
熊本城や水前寺公園など提携施設での割引特典あり。

▼券種・料金・利用範囲

種類	利用範囲	デジタルチケット(円)	紙券(円)
区間指定①	熊本市中心部エリア	850	900
区間指定②	熊本市広域エリア	1,100	1,200
熊本県内版	熊本県内ほぼ全域（一部対象外あり）	2,300	2,500

▼過去の販売実績

種類	販売実績（枚）※紙+WEBの実績		
	R5	R6	R7
区間指定①	11,069	10,639	12,260
区間指定②	19,980	17,231	23,230
熊本県内版	3,740	3,085	3,448

■熊本城周遊バス（しろめぐりん）

観

概要：JR熊本駅を起点に、桜町バスターミナルや桜の馬場 城彩苑、熊本城周辺を結ぶ周遊型観光バス。均一運賃や各種乗車券に対応し、観光客の利便性向上と中心市街地の回遊性向上を図る取組。

▼しろめぐりん過去輸送人員数・運行ルート



■【事】高齢者向け特別定期（サンコーパス、ICシニアパス65）

高

概要：65歳以上を対象とした、一定額で一定期間乗り放題となる定期券。高齢者の外出・社会参加を支援。

▼過去の販売実績

券種	事業者	期間	利用回数
ICシニアパス65	熊本電鉄	R7.4~R8.2	3,855 (実績値)
サンコーパス65	産交バス	R7.4~R8.2	2,640回 (推計値)



■【事】駅から西高パス

学

概要：熊本駅前～熊本西高校間を自由に乗り降りできる高校生以下を対象としたお得な定期券。※熊本西高校生に限らず高校生以下であれば利用可。
熊本西高校と連携し、校内へのバス運行情報の掲出や通学ダイヤの改善等を実施

年度	販売数
R4	147枚
R5	249枚
R6	305枚
R7	391枚



■【事】渋滞なくそう！ 半額パス



概要：土日は外出需要の取り込み、平日はピークシフトを目的とした企画で、令和6年10月～令和7年2月に実施。
事前登録により、平日は9時以降の降車・土日は終日、運賃を半額。

半額パスの直接効果



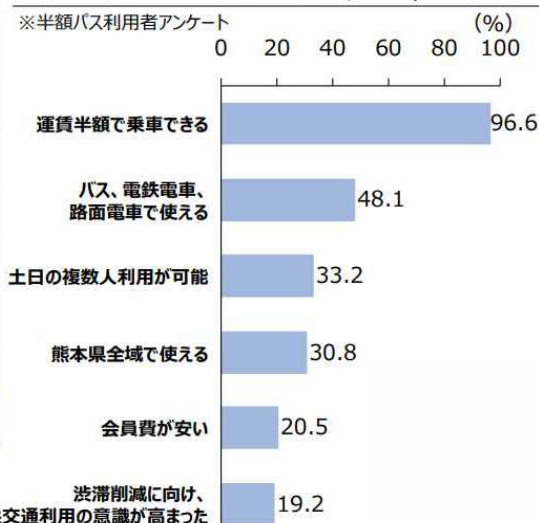
▼販売実績とアンケート結果

月別販売枚数

販売月	販売数
2024年9月	2,765
2024年10月	3,453
2024年11月	1,333
2024年12月	392
2025年1月	82
2025年2月	9
計	8,034

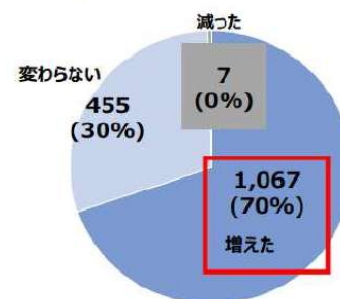
目標：1,500人

半額バス利用者の良かった点 (MA / n=1,529)



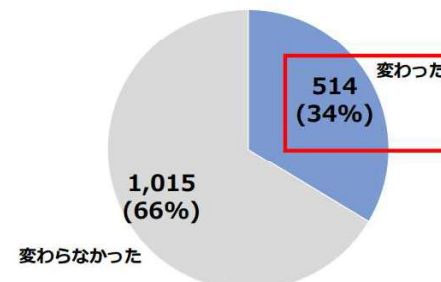
半額バス期間中、公共交通の利用は増えたか (SA / n=1,529)

※半額バス利用者アンケート



ピークシフトを意識した行動に変わったか (SA / n=1,529)

※半額バス利用者アンケート



【参考資料】各施策の概要・・・⑥車内の混雑緩和(ピーク時間帯の需要分散)

資料2

■南熊本快速バスの運行（社会実験）

学 勤

概要：JR新水前寺駅から市電への乗換え混雑緩和等を目的に、R7年度に実施。平日の7～9時に南熊本駅～桜町BT間を快速運行。

JR南熊本駅からなら！
10分短縮
南熊本快速バス
実証実験
期間限定 快速バス運行
JR南熊本駅→桜町バスターミナル
早い！ 快適！ お得！
2026 1/13火▶2/13金 平日限定運行

平日の朝の通勤・通学時間帯のJR新水前寺駅での乗換混雑緩和を目的に、ひと駅先のJR南熊本駅から桜町バスターミナルまで約10分で運行する南熊本快速バスの実証実験を行います。

運賃 大人 200円均一（小児は半額）
※本線と比べ乗車時間は短縮されます。
※乗車にはICカードが利用できません。

運行時間 平日の7時～9時（土日は除く）
■南熊本快速バス出発時刻
（桜町バスターミナル発）
7時台 00 16 30 44 54
8時台 07 20 34 44 57

※桜町バスターミナルからJR南熊本駅まで約10分
※南熊本快速バスは、桜町バスターミナルからJR南熊本駅まで約10分で運行します。

運行期間	令和8年1月13日～令和8年2月13日（平日）
R4運行ダイヤ	午前7時～9時
R5運行本数	1日10本
運賃	200円均一
R7利用者数	1,646人（23日間）
1日平均利用者数	71.6人／日

▼運行ダイヤごとの乗車人数合計

便	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
出発	7:00	7:16	7:30	7:44	7:54	8:07	8:20	8:34	8:44	8:57	
計	70	82	150	193	201	235	235	158	119	203	1,646
平均	3.0	3.6	6.5	8.4	8.7	10.2	10.2	6.9	5.2	8.8	71.6

■県や企業と連携したオフピーク出勤等の推進

勤

概要：交通渋滞の緩和を図るため、
県・市及び企業が連携しオフピーク出勤を実施。
令和7年9月に「1万人のオフピーク通勤」として実施。
渋滞対策パートナー企業：275社の民間企業が登録（令和7年度現在）

1万人の
オフピーク通勤!!
みんなで取り組む“渋滞解消”
渋滞知らずで快適通勤！
柔軟な働き方で仕事も暮らしも充実！

■【事】ヴォルターズ試合後の臨時便運行

他

概要：熊本ヴォルターズのホームゲーム開催日に、
観客の移動利便性向上を目的に臨時便を運行。
※令和5年度：4試合運行
※令和6年度以降：全ホームゲーム運行



	令和6年度	令和7年度
総利用者数【人】	908	685
1試合当たりの利用者数 （28日実施）【人／日】	32.4	24.5

■【事】クレジットカード等タッチ決済導入



概要：公共交通の利便性向上等を目的として、クレジットカード等によるタッチ決済を導入。

国内利用者はもとより、訪日外国人旅行者にとっても利用しやすい環境を整備。

※クレジットカードやスマートフォン等を専用端末にかざすだけで乗車可能

※原則、チャージ不要

▼タッチ決済対応カード等

クレジットカード	チャージ無し（後払い）
デビットカード	銀行口座から即座引落し
くまモンPAY等	銀行残高、チャージ必要（クレジットカード等）
プリペイド式クレジットカード	チャージ必要（コンビニで現金チャージ）



▼各交通モードごとの決済手段

交通モード	事業者	決済手段					
		現金	全国交通系ICカード	くまモンのICカード	タッチ決済	QRコード	乗車券
バス	九州産交バス	○	—	○	○	△ 企画券のみ	○
	産交バス						
	熊本電鉄バス						
	熊本バス						
	熊本都市バス						
鉄軌道	熊本市交通局	○	○	○	○	○	○
	熊本電気鉄道	○	—	○	○	—	○
	JR九州（熊本エリア）	—	○	—	—	—	○

■バス・電車無料の日

全

概要：当事業は、市民が公共交通を利用する“きっかけ”をつくり、公共交通の利用促進を図ることを目的として、令和4年度から令和6年度までで計5回実施。

開催期間	第1回：令和4年12月24日（土） 第2回：令和5年3月18日（土） 第3回：令和5年10月7日（土） 第4回：令和5年12月23日（土） 第5回：令和6年12月21日（土）
参加事業者	県内バス5社、電鉄電車、市電 等
対象路線	参加事業者が運行する路線のうち、一部でも熊本市内を運行する路線。（一部例外あり） ※令和5年度以降については、一部のコミュニティ交通も 対象

▼公共交通利用者数の比較（前週）



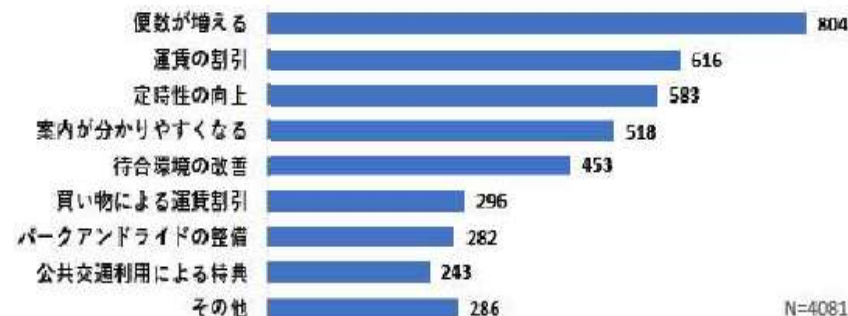
▼無料の日当日の交通手段（アンケート）

回答対象：R6.12.21（無料の日当日）に外出した者



▼公共交通を利用したくなる要因（アンケート）

問：どうすれば、これまで以上に公共交通を利用したいと思うか。または、どうしたら利用者が増えると思うか（複数回答可）



■バス・電車100円ウィーク

全

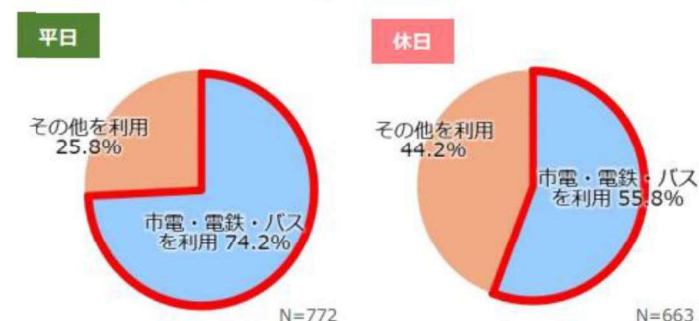
概要：当事業は、市民が公共交通を利用する“きっかけ”をつくり、料金割引による行動変容の分析を目的として、令和5年度に実施。

開催期間	令和6年2月5日（月）～令和6年2月11日（日）
参加事業者	県内バス5社、電鉄電車、市電
対象路線	参加事業者が運行する路線のうち、一部でも熊本市内を運行する路線バス、及び電鉄電車、路面電車の全ての便の運賃を一律100円

▼公共交通利用者数の比較（前週）

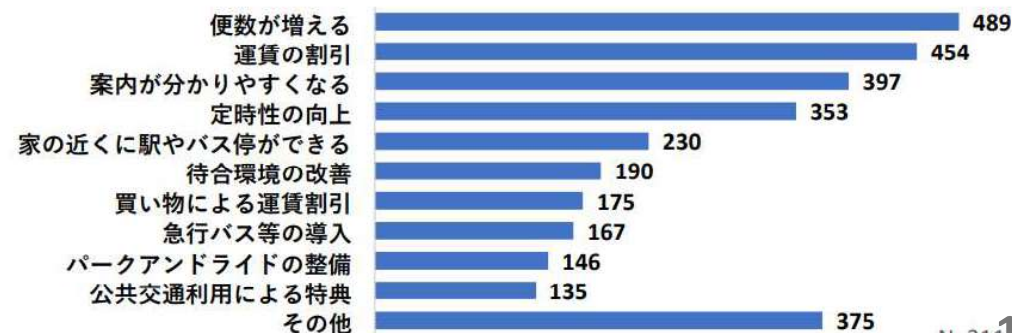
▼100円ウィーク期間中の市中心部への代表交通手段（アンケート）

回答対象：100円ウィーク期間に外出した人



▼公共交通を利用したくなる要因（アンケート）

問：どうすれば、これまで以上に公共交通を利用したいと思うか。
または、どうしたら利用が増えると思うか（複数回答可）



【参考資料】各施策の概要・・・⑧公共交通利用のきっかけづくり

資料2

■【事】利用促進キャンペーン（バス・電車“元気”フェスタ）

全

概要：公共交通の利用促進を目的として開催する体験型イベント。
バスや電車の車両展示、乗車体験、ICカード・タッチ決済体験などを通じて、子どもから大人まで幅広い世代が公共交通に親しむ機会を創出。
公共交通の役割や魅力への理解を深めることで、利用のきっかけづくりや将来の利用者育成につなげる取組。

▼過去の実績

	R4	R5	R6	R7
来場者数【人】	2,741	4,581	3,240	3,589



■【事】高校オープンスクール、合格者説明会における周知

学

概要：高校通学時の公共交通利用を促進するため、中学3年生やその保護者を対象に実施する取組。
チラシやパンフレットを配布しながら、バス利用のメリットや運行情報の検索方法等を分かりやすく周知。

▼オープンスクール・合格者説明会での周知活動実施校

年度	高校名
R4	鹿本商工高校
	必由館高校
R5	済々黌高校
	第一高校
	尚綱高校
	九州学院高校
	ルーテル学院高校

年度	高校名
R6	東陵高校
	千原台高校
	御船高校
	熊本西高校
R7	鹿本高校
	翔陽高校
	第二高校
	熊本北高校

■サクラマチ映画館 × 交通サービス券

(他)

概要：映画の半券を提示することで、路線バス・市電・電鉄電車のでえる交通サービス券（200円分）を配布

▼過去の実績

期間	実施日数	枚数
R7.4. 6～R7.5. 6	30日間	利用枚数： 751枚 (引換枚数： 911枚)
R7.7.18～R7.8.31	45日間	利用枚数： 764枚 (引換枚数： 969枚)
利用枚数合計		1,515枚

▼利用者アンケート

Q. 今回の特典(交通サービス券)があることで、他の映画館と比べてTOHOシネマズ熊本サクラマチに来館されるきっかけになりましたか？

